

明治三十三年十月十日付

短評

地花ノウタノ厭味アリ殊更ニ地花ハ甚ダシ能ク考(給)。
コヨリシテ之々大々的厭味ノウタナリコヨリナドシテ歌カキ
オクハ大タハケルベシ。

朱橋ノタモトノ白百合ニ趣向ニ於テヨシサレドオ一オニ句
ハ改メタルコシモヨシト今層神橋ラレクニタキナリ。

義和團バケレイヤナリイヤナリ。
朝モヤノ中コシモイヤナリ嘘ハヨムナフレ歌ニ正直ニヨムベ
キモノナリ或ハ此バケレイヤナリ嘘ヲヨムニモ正直ノ心ナカレバカラス。

電報カナル餘リニ路骨ナリ歌ニ落テ付キガナルカ
スミシ人ノ死シイタシヤヤ。
七尺ノ古太刀嘘ヲモフモ程ノアルモノナラスヤ。

午侯フタリコシモ無終身ニシイナリ。
鯉ノポーハ初ハトイハシ。
二人ガ名ヲバ実ニ厭味モ却種モ程アラタモナリ蓮
ノ花ニ文片ガヨクアラシタラハ不思ニ評ナルベシ又二人ガ名ヲ
カキテ派ストモムカナルモノヤクシクモ正直シ。

ハ夕ノ神ニタ四五ノ句ハコシテヨシ先ツオ三ノ句モヨカラシ
サレドオ一ノ句ハタメナリ強イ事シニフニ就鳥ヲ用キルナ
ド心ノコトナリコシコソ不心要ト申スナシ。

渡ノウタキレキレノヤリキコソ。

驚ノカナル強トハカリ思フド調ニ倦キトコロナキ上
ハイカニ強キモノヲ用キルモ一頁ノ評ナルベシ。
入仕ケナシトナリボニヤナリ。



夕、神ニ々四五ノ句ハコレヲヨシ先ツオ三ノ句モヨカラシ
サレドオ一ノ句ハダメナリ強イ事シコフニ就事ヲ用キルナ
ド其心ノコトナリコレコソ不心要ト申スナシ。

後ノウタキレキレノヤウキコト。

驚ノカナク強トハカリ思フド調ニ僅キトコロナキ上
ハイカニ強キモノヲ用キルモ一首ハ弱ク下シ。
入法ニテトナリボニヤリナリ。

朝日ノウタヲコナコトヲヤル故一題テイクラモ生キヤ
シナイ。

若キ身ノミヤ若キ身ノハカレモキカクワケノワカラヌ
ウタナリ恐ラク作者モワカラヌたゞ作者ニワカラ
ヌヤウミハ人ニ一向ワカラヌモナリ。

注連ハリレアリウナコトナリサレドコレハ似句ナドノ

テ適者ナラカ歌ニニモナレシエマナカレカス
菊苗ツマラヌコトヲモウモカサ。

芭蕉ミヤコニモ正直ニト勸ルノ外ナレワレモサキ
人知レズ言ウタアキル芭蕉ニ手ノキレキレシナレト
アキル風 ~~フシ~~ ラツクリタレド今ニシテハ恥ヂルナリ。
管ノウタモワゲトラシ。

○
総テラ通ジテワゲトコトヨキカハスモ殊念ア
リ實際即チ言ヒカレバ自然ラオキテ歌ニスバノ句
ニクベキモノナレ自家ノ理想ヲ言フモ實際ナレバ。

少レノ重シモタカラウカトシタハ由来鉄幹ノ
調ナリコレヲ知ラズシテ鉄幹ノ真似ラヌ危険言
フベカラズ今コノ歌ヲ見ルニ又頗ル鉄幹ノ似タリ

総テヲ通ジテワザトシコトヨキカハスルモ殊念アリ
リ實際即チニシカレシバ自然ヲオキテ歌ニスベク句
ニズキモノナレ自家ノ理想ヲ言フモ實際ナレバ。

ナルノ重ミモタカラウカカトシタルハ由來鉄幹ノ
調ナリコシラ知ズシテ鉄幹ノ真似ヲナス危險言
フベカラク今コノ歌ヲ見ルニ又頗ル鉄幹ノリシニ似タリ
殊ニ世清事件ヲヨミタル如キ見ダシトモ甚ダシ
ク又弊ニ防リタルモナリ此ノ如キワシテ絶対的
ニ批評スルモナリ此ノ如キモノニ満足セバワシハ少しモ
歌ニ苦シレコトナカレシ
從來ワガ書ヲ致シタルモ一再ニ止マシテ常ニ吾言
ヲ放テテ鉄幹ヲ学ブナカレトイヒシモノ此ノ如キリ
タラヨマレサカクメナリ

過ぐ日萬朝報ニヨリテワシハ子規一派ト鉄幹
トノ争ヲ知リタリ而シテ明見ノ上ニ鉄幹ノ子規
ニ負フニ書アルヲ知リタリ(但シ明見ヲヨミズ只廣き
ヨリテ鉄幹ノ)蓋シ鉄幹ノ口業頗ル目下ニキク
相ツナリ今鉄幹ノ一端ヲ聞キテコレヲヨシトス
モハ誤リサリ心解者ナリ言論ハ又ヨク来ルト
コロノモトヲ探シ兩者ノ論ヲ比較シテ如ク
テ書リ置ラフニ凡ソ人識高カラザレバ漫リ
ニ人ノ言ニ服シ易シ故ニ人ノ言ニノ聞ク人頗
ル危険ノコトナリ今若シ鉄幹ノ論ヲヨミ人ハ

敵手トシテ子規ノ文ヲヨメ余固ク信ズ鉄幹ノ迷ハ
子規ハサメタリ迷者ノ言ハ危リ疑メスモ言ノ聞ク
ベシト明見ヲ無ニテ又トシ鉄幹ノ歌ヲ歌リトス

テ世ナリ否ク言フべシ凡ソ人識高カチガシハ邊リ
ニ人ノ言ニ服シ易シ故ニ一人ノ言ニノニ聞ク人頗
ル危険ノコトナリ今若シ鉄幹ノ論ヲヨマニ人ハ

敵手ナシ子規ノ文ヲヨメ余固ク信ズ鉄幹ニ迷ハリ
子規ハサメタリ迷者ノ言ハ危ク眩メスモ言ハ聞ク
べシト明見シテ無ニ又トシ鉄幹ノ歌ヲ歌リトス
モハハ家ニ歌ヲヨミ得ズキナラザルナリ歌ヲヨミトス
モハハ萬昔キヨメ萬昔キヨメモハハ日本ヲヨメ
子規ノウタヲヨメ而シテ明治ノウタニナレバ雷會
若キ會ノ徒ハ今日未ダ歌ヲヨミ得ト移クキモ人
ハズ此ノ業ヲマタイザンべシカノ鉄幹ノ流業
我々ソニセタル志ノウタ十二首ノ如キイカニ他論
ニ彼レノ弊ヲ現シタルカ彼レ志ゴシラナリ彼レ

ノ志ナシノ重ミモアレ彼レ志ヨフハラヒノ嘯言
ノ如キナリ故ニ人ハ兵志ヲ揮ハ能クハ又離滅裂
ナリ彼レガ如キノ徒目下慢自負任シテ以テ天下
歌壇ノ進者トナレ天下ノ歌人ハ公ヲオキテ又
フルトナク山々思ハベキナリナキヤ
ワガコノ短評頗ル酷ニ失ス然リト酷ナルハソコ
ナフニ非ズ短評ヲサレタルニ乞フ涼セヨ

長塚節歌論



本間文庫
文庫 14
A106

